

右岸道路側から一本橋を臨む。右手が下流、橋の向こうが高田の集落にあたる



上) 修復作業の様子。以前は、橋脚に沿って丸木(「なげし」という)が渡され、流れ落ちた橋板を持ち上げるのに利用された(写真提供: 朝来市(平成9年8月))
左) 写真提供: 田原まさ子さん(平成8~9年頃)



後方に県道104号線(右岸道路)のガードレールが見える。1つの橋脚に2枚の橋板を渡しているため、正面から見るとジグザグになっている



朝来市・高田・林垣間の市道は小さな人道橋
暴れ川と賢くつきあう先人の知恵が息づく

円山川・高田の流れ橋

「流されることが前提の橋」があるのを知っていますか。一般に「流れ橋」と呼ばれるこの橋は、水勢に逆らわず流れることで、橋そのものや、堤防の破損を回避する役割があります。

早期復旧できる構造も特徴で、度々氾濫を起こす河川では経済的だったでしょう。永久橋になるまでは、但馬でもしばしば見かけられたという流れ橋。川と上手につきあってきた、先人たちの知恵がうかがえます。

朝来市和田山町高田地区の円山川に架かる「一本橋」は、この流れ橋です。幅約70センチ、長さ8メートルの橋板12枚が、円山川の左右の岸を最短距離で結んでいます。川底から橋板までは約2メートル。木製の板を橋脚に並べただけの簡素な造りで、豪雨や台風などによる洪水で、橋板があつてなく流されてしまいます。

両岸にワイヤーで連結された橋板は、流されると、右岸に6枚、左岸に6枚漂着します。現在橋脚は鉄製で

すが、昭和半ば頃までは木製でした。そのため橋が流されると、山から木を切り出し、川の中に杭を打ち、丸1日かかりで修復したといえます。高田の場合、年に数回は流されるので、その度に、地区の40名ほどが結集し、一丸となって修復にあたってきました。

最近では、一昨年の台風23号、昨年の台風14号で流されました。台風23号襲来時には、鉄製の橋脚も6本が破損し、完全復旧までは実に6ヶ月を要したそうです。かつては全て人力で行われた橋の修復作業も、近年は重機が投入されるようになりました。川の変化や担い手の負担、住民の高齢化などがその理由です。

高田は養父との境に位置し、街道の宿場町として栄えてきました。元々集落は、現在の右岸道路側でしたが、今から約400年前、慶長11年の大洪水が契機となり、現在の場所へ移ったと伝えられています。集落が移ってから、対岸には田畑や山、地

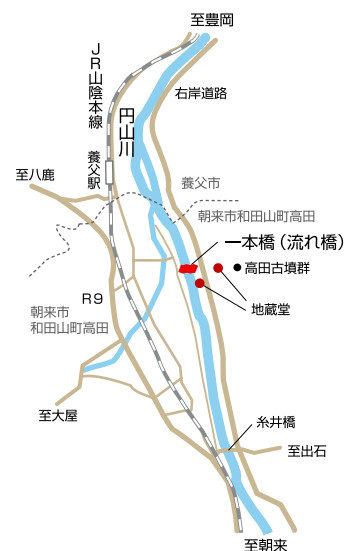
蔵堂などがあり、この一本橋が重要な生活道路でした。

「若い頃は、橋向こうの田んぼで刈った稲を担いで渡っていました。今では橋の利用は日に数人。総勢10名くらいの方が使われるでしょうか」とは、高田地区の区長さん。一地区の修理負担が増えて、橋の維持はなかなか大変です。でも、川向こうには、地蔵堂が2つあって、毎日この橋を渡って、お地蔵さんにお参りされる方があるんですよ」と教えてくれました。

奥山の地蔵堂は、但馬六十六地蔵尊霊場第47番に数えられ、お堂までの参道にも数十尊のお地蔵様が点在しています。大河を横切る小さな橋は、川向こうに残されたお地蔵様への参道。地域の人たちに守られながら、今日も小さな橋が、大きな存在感を放って大河の左右を結んでいます。

協力: 朝来市和田山町高田地区
国土交通省豊岡河川国道事務所

資料: 和田山町史上巻



4/23 (日)

スペシャルブライダルフェア

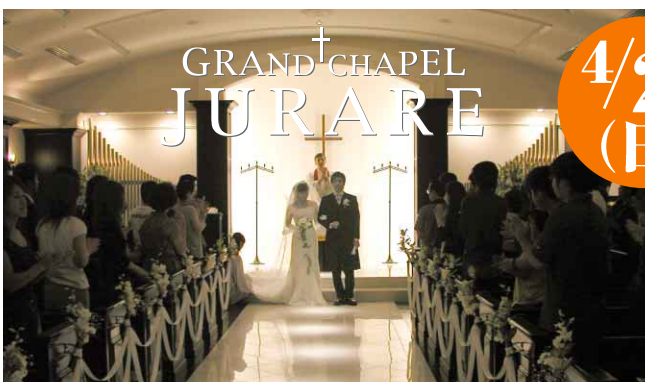
●開催時間 10:00~17:00

- 会場コーディネート展示
- ウェディングドレス試着&撮影会
- チャペル模擬挙式
- ドレスファッションショー
- お料理・引出物等々展示有

オリックスグループ
ブルーリッジホテル

神 鍋 高 原

〒669-5372 兵庫県豊岡市日高町栗枝野55
婚礼受付 Tel (0796) 45-1400
<http://www.orix.co.jp/blridge/>



但馬街道



鑄物師戻峠

いもじもどしとうげ

【豊岡市竹野町～城崎町】

峠の大岩を恐れて
鑄物師が戻った旧街道
町と共に歴史を歩んだ道は
数々の「語りぐさ」を残す



豊岡市竹野町と城崎温泉を古くから結ぶ鑄物師戻峠。いかにも曰くがありそうなその名の由来についてはいくつか説があります。

竹野側の麓にある阿金谷^{あこんだに}という地区にはこんな伝承が残っています。

昔、この辺りには金鉱があり、鉱夫（鑄物師）が荒金を背負って国府へ届けていました。峠の大岩の下を通りかかったときに、たまたま大地震がおり、大岩が落ちてくるかと恐ろしくなった鑄物師が引き返したのでこの名が付いた、ということ。

大岩は実際に今も山頂付近にあり



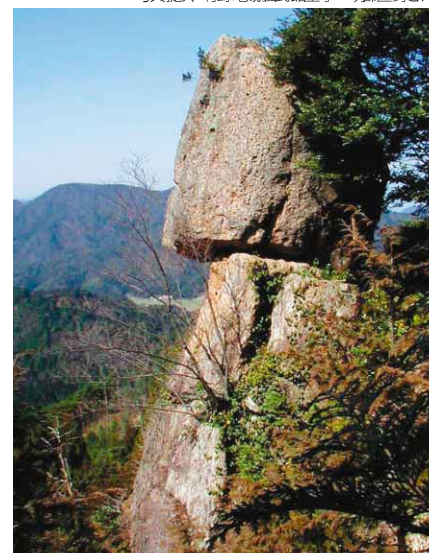
阿金谷の登山口付近には鑄物師戻峠の大岩のモニュメントが建てられている



現在の峠にあるトンネルは昭和61年に開通

メートル以上高い所にある、谷を越える難所でした。吹雪で前に進めなくなった鑄物師が命

から引き返したというの言い伝えのひとつです。そのようにに、竹野と城崎を結ぶ唯一の街道であり、常に多くの人の往来があつたといえます。峠には茶屋もあり繁昌していたのだとか。明治34年に鉄道が開通すると、峠を利用する人の数はぱたりと少なくなつてしまいましたが、地元の人たちにはずっと利用されてきました。「この峠を越えて城崎の温泉まつりへ行くのが楽しみでした」とは、阿金谷に住む花垣嘉胤^{むらかみ}さん。今から約60年前、歩けば1時間以上かかる道のりですが、途中あいた



写真提供：竹野地域公民館主事 明野直直さん

2つの巨岩が重なる不思議な形態は、大昔の人が加工したものではないかという人もいます。古道はこの岩から少し下りたところにあつた。

を交わす人もあつたといえます。

近年峠にトンネルが開通し、竹野から城崎温泉街まで車なら10分程で行けるようになりました。道はどんなに短縮され便利になつていきます。

しかし、今でも峠の名の由来と共にいくつも残る「語りぐさ」は地域の特性や先人の暮らしまでも私たちに示してくれます。

協力：木地工芸師 花垣嘉胤さん

国土交通省豊岡河川国道事務所

豊かな暮らしをサポートします

新築はもちろん！水漏れやトイレづまりも！
どんな小さなことでもお気軽にご相談ください。



どんなことでもお気軽に
お見積もり無料！ 0120-577-406

信頼と安心の証！
実績多数
公共工事

新築から水回りまで！
建築なら
全ておまかせ

●下水道工事もOK！
■建築設計 ■建築工事
■上下水道工事 ■住宅設備工事

●専門スタッフがサポート！
■測量 ■土木設計
■土木施工管理 ■土木工事

有限会社 新栄建測

〒668-0015 兵庫県豊岡市一日市1676-17
TEL.0796-24-6350 FAX.0796-24-9577 <http://www.shineikensoku.com/>

シンケンホーム
[住宅事業部]